

来年(2023年)のスギ・ヒノキ花粉の飛散予想

◆関東において前年(2022年)の約2倍、都内においてスギ花粉6,500個、ヒノキ花粉4,000個と非常に多くの飛散が予想されます。

◆特に都内で、スギとヒノキ花粉飛散総数が最大で1万個を超える大量飛散の可能性も出てきました。

スギやヒノキの花粉量は夏の天候と前年春の飛散量に大きな影響を受けます。

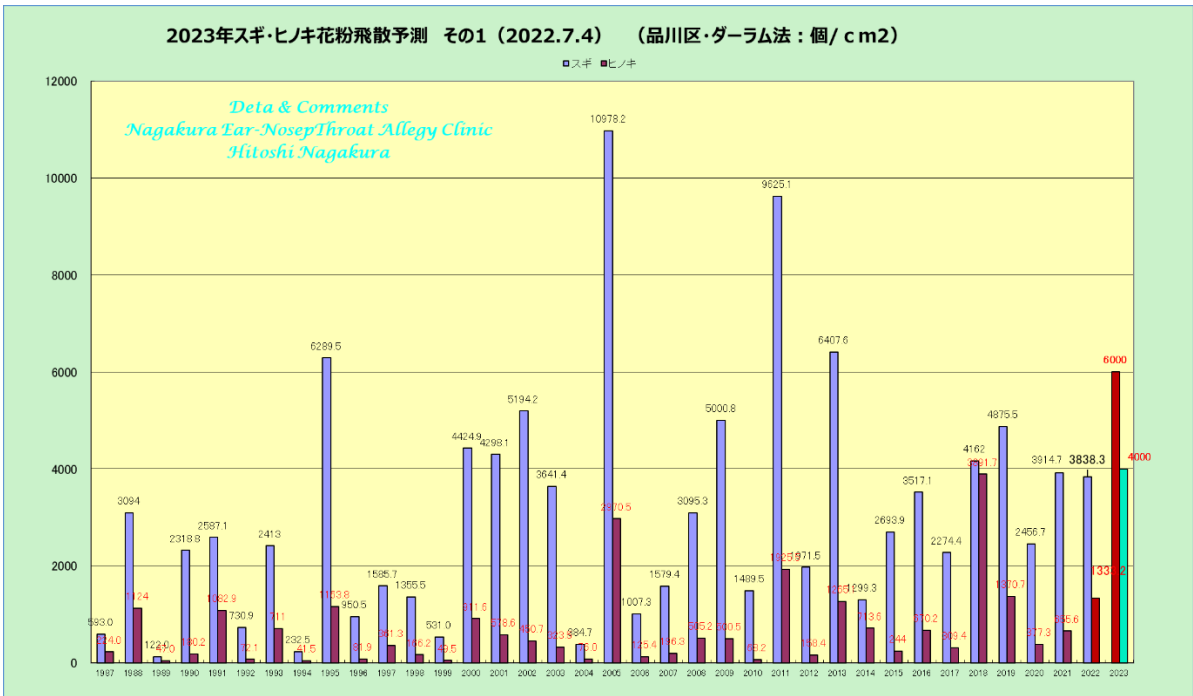
2022年6月は全国的に気温も高く、日照時間は例年より多くなりました。スギ、ヒノキの花芽の形成される6月上旬の日照時間は全国的にかなり多くなりました。この気象条件からは来年は花粉が多く飛散する条件が整いました。

今年は6月の末に、梅雨が明けた状態となり、そのため、7月の日照時間は、全国的に平年多く、最高気温も高くなりました。そのため、6月と7月の気象条件からはスギ雄花は、来年非常に多くなると予想されます。。

来年のスギ・ヒノキ花粉飛散数に影響をおよぼす要因は、前年の春の花粉飛散数です。2022年春にスギ、ヒノキの花粉飛散数が例年より多くなったのは東北地方だけで、全国的に少ない傾向となりました。このことから、樹の樹勢からも盛んとなり、来年は、スギ、ヒノキはより多くの花粉をつけると予想されます。

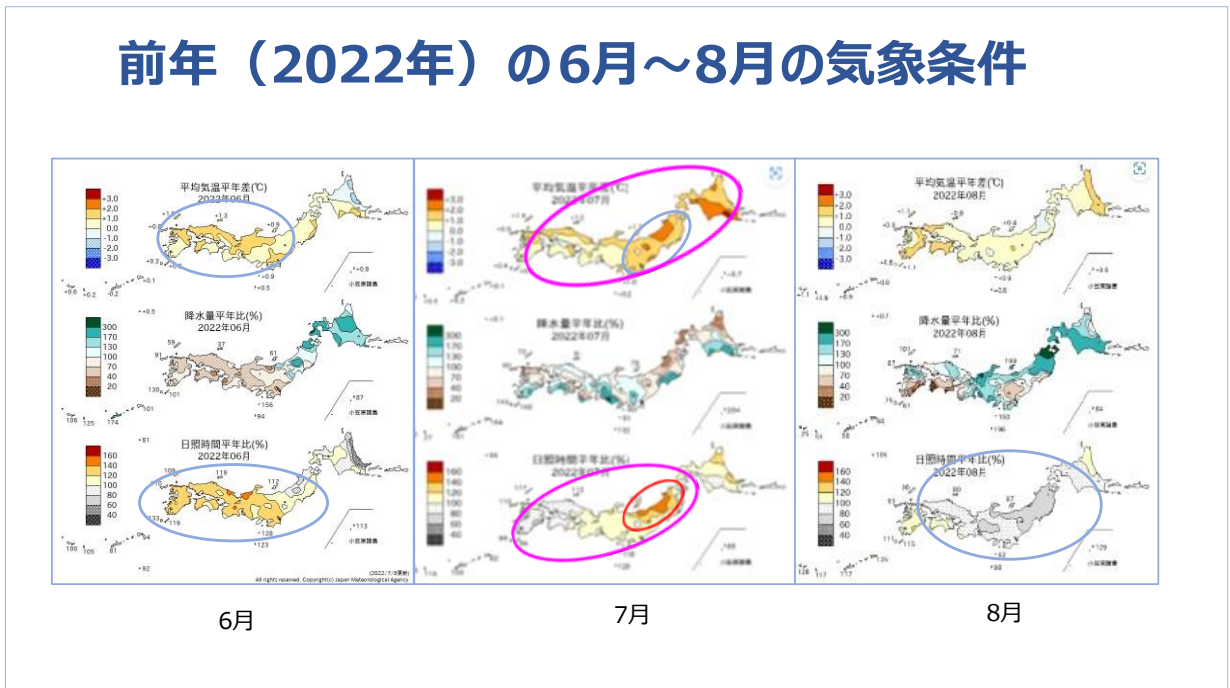
2023年のスギ花粉に飛散開始は、今後、10月までは気温が高め、その後、11月は例年並み、12月はやや寒めの予報となっており、スギ雄花は例年通りかやや早く冬眠から覚醒する可能性もありますが、2023年1月の気象条件は低めの可能性も出ており、最終的には、例年通りの2月中旬頃の飛散開始となる予想です。

以上の点から、2023年春のスギやヒノキの花粉は、全国的に例年なみか例年よりも多くなる見込みです。特に関東北部に花粉飛散が多い傾向も予想され、都内においてスギ花粉6,500個、ヒノキ花粉4,000個と非常に多く、特に最大で1万個を超える大量飛散の可能性も出てきました。



2023年スギ花粉、ヒノキ花粉飛散予想

前年（2022年）の6月～8月の気象条件



前年月6月から8月の気象条件